

## 1. 環境マネジメントシステム(EMS)の自立運用

グループ会社は、構築レベルを6段階に分類した九州電力のグループ会社独自の統一的な基準(「九電グループにおけるEMS構築基準」)に基づき、各社事業特性に応じたEMSを構築し、環境負荷を適切に管理する取組みを推進しています。

### EMS構築状況(2015年3月末現在)

EMS構築レベル		会社数
第6段階	ISO14001 認証取得 (全事業所で認証を取得している会社)	2
第5段階	ISO14001 認証取得 (一部の事業所で認証を取得している会社)	6
第4段階	ISO14001 準拠	7
	エコアクション21(EA21) 認証取得	6
第3段階	ISO 簡易システム	8
第2段階	文書による体制、目標管理、 遵守評価の実施	17

(注)第1段階(環境管理体制の整備、環境方針の策定、環境目標の策定):5社。  
第1段階のEMSを構築中:2社。

## 2. 環境に関する法規制遵守の状況

地元自治体との環境保全協定の遵守に関し、グループ会社の設備不具合等により、2013年度に引き続き、協定値を超過する事象が発生したことから、当該設備の改善及び処理施設の適切な管理を行うよう警告を受けました。これについては、警告を受けたグループ会社において、一連の事象に対する原因及び運転管理体制強化などの再発防止対策を速やかに地元自治体に報告し、その後の測定で異常がないことを確認しています。

当社はこのグループ会社に対し、法令や地元自治体との環境保全協定等の遵守徹底に向け、環境管理業務全般の再点検を指示しました。

また、これらの事象については、グループ会社間で共有化し、水平展開を図るなど、グループ一体となって法令遵守に努めていきます。

## 3. 環境会計

「九電グループにおける環境会計基準」に基づき、各社で算定した環境活動コストを集約しています。

単位:百万円

環境活動の分類	主な活動	2013年度		2014年度		2014年度 環境活動	
		投資	費用	投資	費用	項目	効果
地球環境保全	地球温暖化防止及びオゾン層保護対策等	20.2	1,382.1	44.1	1,585.6	温室効果ガス排出抑制量 <sup>※1</sup>	46.3千トン-CO <sub>2</sub>
地域環境保全	大気汚染・水質汚濁・騒音・振動防止対策等	280.9	765.0	25.0	1,109.2	SOx排出低減量 <sup>※2</sup>	10.9千トン
						NOx排出低減量 <sup>※3</sup>	2.9千トン
資源循環	産業廃棄物・一般廃棄物の適正処理等	16.3	1,112.8	45.2	1,523.6	法令、条例に基づき適正に管理	
						産業廃棄物リサイクル量	154.9千トン
						産業廃棄物適正処分量	6.1千トン
						古紙リサイクル量	1.1千トン
グリーン調達	グリーン調達で発生した差額コスト	—	21.3	—	27.3	一般廃棄物の適正処理	—
環境活動の管理	環境教育、EMS運用管理、環境負荷監視・測定、構内緑化等	—	148.3	—	291.9	出前講演会	2社 94人参加
						取組事例・事業内容紹介	51社 54人参加
						外部認証取得会社	14社
						EMS第2～第4段階への取組会社 <sup>※4</sup>	32社
						環境関連データベース項目数	857項目
環境関連研究	廃棄物有効利用等	4.0	3.4	—	0.2	九州ふるさとの森づくり育林・植樹活動 <sup>※5</sup>	1,014人参加
社会活動	地域の環境活動支援等	—	75.9	—	85.8	地域清掃活動	29社実施
環境損傷対応	公害健康被害補償制度による汚染負荷量賦課金	—	163.1	—	141.2	—	—
合計	—	321.4	3,671.9	114.3	4,764.8	—	—

※1:グループ会社が事業所に設置した太陽光発電設備等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。

※2:ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。

※3:ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。

※4:エコアクション21認証取得会社を除く。

※5:グループ会社社員及びその家族の参加者数。

用語集をご覧ください

≫環境マネジメントシステム(EMS)  
≫ISO14001  
≫ISO14001準拠  
≫エコアクション21  
≫ISO簡易システム

≫環境保全協定  
≫環境会計  
≫環境活動コスト  
≫地球温暖化  
≫オゾン層  
≫温室効果ガス

≫大気汚染  
≫水質汚濁  
≫資源循環  
≫グリーン調達  
≫公害健康被害補償制度  
≫汚染負荷量賦課金

≫ばい煙  
≫脱硫処理  
≫低硫黄燃料  
≫脱硝処理  
≫SOx(硫黄酸化物)  
≫NOx(窒素酸化物)

## 4. 環境教育・環境情報共有化

グループ各社の環境講演会などの実施により、グループ会社社員の環境意識高揚を図っています。

また、インターネットを活用した「九電グループ情報ネットワーク」に環境関連法規制等の情報を掲載し、グループ会社の環境情報共有化を図っています。



九電みらいエナジー(株)による事業内容紹介の様子

### 環境教育・環境情報共有化(2014年度)

項目	対象会社	内容	人数
九州電力社員による出前講演会	株キューヘン	環境問題の現状と九州電力グループでの環境経営の取組みについて	40名
	西日本プラント工業株		54名
グループ会社の取組事例・事業内容紹介※	九電みらいエナジー株	九電みらいエナジー株の概要について	54名
	九州高圧コンクリート工業株	2013年度エコアクション21の取組み	

※:2015年3月4日に開催した「グループ環境経営推進部会」の中でご紹介いただきました。

## 社外からの表彰等

### 社外からの表彰等(2014年度)

表彰名	対象	実施団体	
平成26年度エコアクション21 環境活動レポート大賞・九州	九州地方環境事務所長特別賞	九州高圧コンクリート工業株	
	九州環境カウンセラー協会特別賞		九州林産株
			光洋電器工業株
平成26年度エネルギー管理表彰	九州経済産業局長賞 (エネルギー管理優良工場賞)	株電気ビル 小倉支店	(一財)省エネルギーセンター九州支部、九州地方電力利用効率化協議会
かごしま温室効果ガス排出抑制事業者表彰	優秀賞	株電気ビル 鹿児島営業所	鹿児島県
平成26年度九州地方整備局 国土交通行政功労表彰	優良施工業者(業務部門) 「彦山川下境地区河道整備検討業務」	西日本技術開発株	国土交通省九州地方整備局
2014年度九州分析化学奨励賞		九電産業株環境部社員	(公社)日本分析化学会九州支部
北九州市認定産業廃棄物処理業者 認定証		株ジェイ・リライツ	北九州市
DBJ Green Building 認証	国内トップクラスの卓越した「環境・社会への貢献」がなされたビル	株電気ビル 共創館	日本政策投資銀行

用語集をご覧ください

>>環境経営  
>>エコアクション21

>>温室効果ガス  
>>産業廃棄物